

2024年4月25日

報道関係各位

プレスリリース

株式会社トライアルカンパニー

株式会社ドリーム・アーツ



トライアル、本部・店舗コミュニケーションツールをShopらん®に刷新  
～情報発信の手段を統合し、店舗生産性の向上を目指す～

株式会社トライアルカンパニー（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：石橋 亮太、以下 トライアル）と大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたびトライアルが、多店舗オペレーション改革を支援するクラウドサービス「Shopらん®（ショッピングプラン）」を導入したことを発表します。トライアルでは、2023年11月より本格利用を開始しており、全311店舗（2023年12月末）で利用されています。また、2024年3月からはShopらん®「フレッシュマニュアル機能」の利用を開始し、さらなる本部-店舗間コミュニケーション改革を推進しています。

## ■ 多店舗オペレーション改革が必要とされた背景

トライアルは、あなたの「生活必需品」。のコンセプトのもとスーパーセンターを主力として全311店舗を全国に展開する流通小売企業です。各エリア・店舗に経営の主導および権限を分散するスタイルで店舗運営しており、顧客満足度の向上を第一に活動しています。

トライアルで店舗の活動を支援するために専用ツールを導入していましたが、主に2つの課題を抱えていました。まず情報発信手段に関しては、店舗への情報発信にはメールや掲示板など複数の機能を利用していたため、発信状況の管理が煩雑になっていました。その結果、1店舗あたり1週間で50通以上の情報が届くため、情報を探す作業に多くの時間を要していました。2つ目は業務マニュアルの課題です。本部にて作成した業務マニュアルの展開後、ツールの機能制約により店舗側でのカスタマイズができず、各現場の知見やノウハウを活かす仕組みがありませんでした。さらに、他システム連携による業務改善を構想していましたが、連携機能が不足しており現行ツール内での工夫を強いられる状態になっていました。

これらの課題解決に向けて長年利用していた既存ツールを刷新。店舗の負荷軽減と生産性を向上させるべく新たな本社-店舗間コミュニケーションツールとしてShopらん®を採用し、活用を進めています。

【イメージ：コミュニケーションツール刷新前後】



■ Shopらん®の活用で継続的な業務改善が実現可能に

ツール刷新プロジェクトではユーザーアンケートなどを実施し、現場の声も聞きながらツールの比較・検討を推進。最終的に Shopらん®を採用した理由は下記のとおりです。

【評価されたポイント】

- ・お知らせ機能：複雑な作業指示や店舗への催促などのあらゆる情報伝達を集約できる
- ・フレッシュマニュアル機能：店舗によるマニュアルへの追記やフィードバックが可能
- ・豊富な API 群：さまざまなシステムとの連携で一気通貫の業務デジタル化が見込める

【イメージ：各ツールの比較・評価】

	既存ツール	Shopらん	製品A
発信情報の管理統制	✕ 複数ツールに分断	○ すべての情報を「お知らせ」機能に集約	○ 非常にシンプルなUI登録・発信・管理が可能
店舗状況の可視化	✕ 既読率が確認できない	○ 既読率/作業実施率の取得や未実施店舗への催促が可能	△ 既読率/作業実施率の可視化のみ
マニュアル機能	✕ 別途内製ツールを開発	○ マニュアル作成・格納はもちろん店舗独自のカスタムが可能	△ マニュアルの格納のみ
他システム連携	✕ 連携先が限られる	○ 様々なシステムと双方向の連携が可能	△ 連携先が限られる

全店舗展開を開始してから6ヵ月が経過した現在、本部と店舗のコミュニケーションの可視化によって、曜日・時間帯ごとの本部から発信される情報量や店舗の閲覧率の変動などの状況が明らかになるなど、さまざまな導入効果が現れはじめています。そのほかの効果は以下のとおりです。

【導入の効果】

- ・ 指示通達の整流化：発信内容や頻度の見える化と店舗が本来業務に集中できる環境を再構築
- ・ 店舗の実施状況の見える化：未実施の店舗への催促を円滑におこない施策実行率を向上
- ・ 店舗主導の改善促進：店舗ごとの特性に合わせた業務オペレーション変更が可能な状態に

今後はさらなる店舗の生産性向上をすべく、インカムアプリや各種マスタを管理するシステムなどとの連携による一気通貫の店舗業務デジタルイゼーションを目指します。

■株式会社トライアルストアーズ 販売本部 店舗運営部 店舗サポート部 部長 土井 元樹 氏からのコメント

より良い商品を安く提供していくためには、店舗全体の生産性を上げていくことが重要です。それを実現するためには、作業の実施状況や本部側の発信状況などを把握し、良質な情報を伝えるように努めること、生産性のある見える化を進めていくことが必要不可欠です。

「Shopらん®を見ればすべての情報がそろおう」状態が可能になり、店舗の従業員に担当領域の

情報をしっかり伝え、店舗の対応状況を可視化・実行率を引き上げることで、トライアルのお客さまへの提供価値を向上につなげていくことができると考えています。

ドリーム・アーツは他社の活用事例も紹介しつつ、トライアルに寄り添った提案をしてくれました。今後ともパートナーとしてご支援いただけることを期待しています。

トライアルとドリーム・アーツは、今後も「協創」で「現場力強化」「企業競争力向上」の領域において、さらなるパートナーシップを育んでまいります。



**Shopらん® (ショッピングラン) について** <https://shoprun.jp/>

Shopらん®は、チェーンストア業界市場シェア No.1<sup>(※2)</sup> の本部-店舗間コミュニケーションに特化したクラウドサービスです。本サービスはイトーヨーカ堂やエディオン、すかいらーくなど幅広い業種・規模で採用され、導入店舗数約 59,000 店（海外含む）と数多くのお客さまにご利用いただいています。Shopらん®は、サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2 富士経済「2022年版次世代ストア&リテールテック市場の現状と将来展望」2022年・販売金額・メーカーシェア・店舗タスク管理システムより

**株式会社トライアルカンパニーについて** <https://www.trial-net.co.jp/>

トライアルは福岡県を拠点に、“あなたの「生活必需品」。”というスローガンのもと全国に約 300 店舗のディスカウントストアを展開する流通小売企業です。食品を中心とした総合品揃え型のディスカウントストアで、衣食住に関わる様々な商品を 1 店舗で揃えられるワンストップショッピングを提供しています。また、4つのマルチフォーマットで効果的に運営し、ローコストオペレーションをすることで、エブリデーロープライスを実現しています。

**株式会社ドリーム・アーツについて** <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996年12月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICTだけでも人間だけでもできないビジネス上の課題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。

多店舗オペレーション改革を支援する **Shop らん**®、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB**® (スマートデービー)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX**® (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

---

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社トライアルホールディングス

広報担当 辻井

TEL : 03-6435-6605 FAX : 03-6435-6606 E-mail: pr@trial-holdings.inc

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2501 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。